

令和元年度 西播磨地域夢会議 開催結果

- 1 テーマ 西播磨の夢づくり 2030 –未来の新聞（夢新聞）は語る–
- 2 日時 令和2年2月11日（火・祝） 13:00～16:30
- 3 場所 上郡町生涯学習支援センター（赤穂郡上郡町上郡 459-1）
- 4 参加者 136名 ※太枠はワークショップ参加者

内 訳	人数
ビジョン委員	28
一 般	12
高 校 生	50
その他（来賓・見学者等）	46
計	136

5 プログラム

第1部（13:00～15:05）

- ①オープニング
 - ・開会挨拶
 - ・専門委員紹介
- ②プログラム説明
- ③ワークショップ進行説明
- ④夢新聞づくり（ワークショップ）

グループ討議を行い、地域の未来を描いた「夢新聞」を作って発表。

※ 夢新聞

未来（10年後）に起こるかもしれないこと、起きてほしいことなどを、未来の日付の新聞形式でまとめる。未来を起点に、これからできることを考えるワークショップ。

第2部（15:20～16:30）

- ①来賓等紹介（国会議員、県議会議員、市町長、県民局長）
- ②夢新聞の発表
- ③金澤副知事 講評
- ④閉会挨拶

6 ワークショップで作成した夢新聞の概要

10班に分かれてグループ討議を行い、地域の未来を描いた「夢新聞」を作って発表。

《1班》『子供の声が絶えない町の秘密とは!?!』

秘密1：学びやすい（町内の外国人と連携して外国語学習が身近なものに。）

秘密2：働きやすい（新しい乗り物の開発により通勤が楽になり子供と向き合う時間が増えた。）

秘密3：遊びやすい（公園で安心して遊べる環境になった。）

《2班》『2030年の新しい伝統行事・西はりままつりサミット』

和太鼓、宮内遺跡、たたら製鉄等を紹介する「まつりサミット」を開催。ARやプロジェクトマッピングを活用したこのイベントは、広い世代に浸透し、交流人口や観光客も増加。

《3班》『Na Tech City(ネテクシティ) West Harima』

ネテクシティ（ネチャー×テクノロジー）にいち早く取り組んだ西播磨地域に、自然に癒やしを求める多くの人々が移住。

《4班》『どこでもドア到来～なんでもできる社会～』

2030年に実現している社会の姿を紹介。

①行動できる（完全自動運転により高齢者も安心して暮らせる。）

②交流できる（地域の伝統文化を外国人が継承。）

③自給自足ができる（農業を促進し、自給自足で暮らせる。）

《5班》『安心・安全 ムービングロード完成』

ムービングロードが完成し、いつでもどこへでも移動可能に。交通事故の負傷者もゼロになった。二酸化炭素の排出も大幅に削減し、温暖化対策にも貢献。

《6班》『自然いっぱい「西播磨」』

みどりの日に、西播磨の自然を生かした様々なイベントを開催。観光客・人口の増加に繋がっている。

《7班》『西播磨ニュータウン完成 その名もパリピタウン!!』

交通網やテーマパークを整備し、西播磨地域は人口百万人の都市に。声かけ運動で犯罪発生0件継続中。

《8班》『遂に誕生!!AIで繋がる西播磨の町』

AIの開発が進み、ワンストップで高度な医療・介護・福祉が実現。自動運転技術の向上、カーシェアリングの推進で、西播磨はバス停のない町に。

《9班》『資質の高い教育で明るい未来へ』

ICT教育の導入で教師の負担が軽減し、質の高い教育が実現。教師になりたいという人が増加。

《10班》『人口増加中！』

公共施設を整備。地域の良いところをPR。これらの取り組みにより、過疎化が進んでいた地域に人口が増加。